

7 コウさん（小学4年生）



作品名「家族で行った清水寺からのながめ」

作者の言葉

コロナでどこにも行けてないので少し前に行った京都の旅行の写真を見ながら描きました。空の感じは気に入っているけど、木々のみどりは色が難しかったです。かけじくに入れたらかっこよくなってうれしくなりました。部屋に飾りたいです。

学芸員からのコメント

京都の有名な清水寺の風景ですね。木々を描くのが難しかったということですが、濃い緑、薄い緑など、少しずつ色が塗り分けられていて、とても上手に描かれていますよ！

面白いと思ったのが、家族みんなで何かを見ている所です。鳥や植物を発見したのか、それとも下を歩く観光客を見ているのか…想像力がかき立てられます。美術の世界では、描かれた人々の「視線」は重要なテーマです。近代美術館には下村観山「大原之露」という作品があります。画面中央の女の人は、こちらに背を向けてどこかを眺めていて、「一体何をみているんだろう？」と考えたくなる作品です。コウさんの作品も、視線の先を思わず確かめたくなる、そんな魅力があります。



下村観山「大原之露」